



WHAT IS KIITO? [連載企画] 神戸ぐらしはじめました。/○○さんの神戸めし:前田基行さん/世界のデザイン都市ガイド[ベトナム・ハノイ]

特集: KIITOの10年と

1人のセンター長と

8人のよくわからん

スタッフ。

デザイン・クリエイティブセンター神戸

愛称・KIITO(きいと)

この名前で呼ばれるようになって早10年

子どもからお年寄りの方まで

これまでにたくさんの方がたくさんのプログラムに

かかわってきました

その「たくさんの人」には、運営側からプロジェクトを

見つめてきたスタッフも含まれます

11年目に突入したこの機会に

1人のセンター長と

8人のよくわからんスタッフたちをご紹介します

2015 [阪神・淡路大震災20年・語り継ぐこと/リレートーク]開催

2016 [ちびっこうべ 2016]開催/[小森はるか+瀬尾夏美 波の

2017 [LIFE IS CREATIVE展 ものをつくる人生に、リタイア

2018 [神戸スタディーズ#6 GHQと神戸のまち]/「神戸市×リバ

2019 [男・本気の料理教室(コーヒードリップ、カレー、スイーツ)]

2020 [ちびっこうべ2020]オンライン開催/パーソンズ美術大学との

2021 [FormSWISS 神戸展]/「神戸スタディーズ#8 まちで映

2022 [ちびっこうべ2014]開催/[Found MUJI 神戸]ワークショッ

「阪神・淡路大震災20年・語り継ぐこと/リレートーク」開催
/フランス・サンテティエンヌよりKaksi design招聘/柴
幸男+NO ARCHITECTS、Chloe Meineck、長島有里枝
がアーティスト・イン・レジデンス/[OUR DIARIES
KOBE 100人が日記で綴る、神戸の日常生活と冒険展]/
[LIFE IS CREATIVE展 高齢社会における、人生のつくり
方。]/[コミュニティ×アート プラクティス]「余白不動産」
[男・本気のパン教室]「日本酒学」がスタート/濱口電介監
督による映画「ハッピーアワー」がロカルノ国際映画祭 最
優秀女優優賞受賞(年間事業数185)

「ちびっこうべ 2016」開催/[小森はるか+瀬尾夏美 波の
した、土のうえ]巡回展示/村上しほりを講師に「神戸スタ
ディーズ#4」/長島有里枝による成果発表展「縫うこと、着
ること、語ること。」/東方悠平がアーティスト・イン・レジデ
ンス/[大人の洋裁教室]スタート(年間事業数208)

「LIFE IS CREATIVE展 ものをつくる人生に、リタイア
なんてない。」/石塚まこがアーティスト・イン・レジデンス
/[神戸野菜学]スタート/VISION GLASSによる「NO
PROBLEM展」/[つながる食のデザイン展 食べること
から、はじまる。]/「言葉の宇宙船がやってくる〜KIITO
BOOK CLUB」/[Robert Frank: Books and Films,
1947-2017]/川勝真一をコーディネーターに「セルフ・ビルド・ワー
クショップ」(年間事業数148)

「神戸スタディーズ#6 GHQと神戸のまち」/「神戸市×リバ
ール市交流フォーラム」/椎原保がアーティスト・イン・レ
ジデンス/[Gabarito KOBE]「神戸珈琲学」がスタート
(年間事業数210)

「男・本気の料理教室(コーヒードリップ、カレー、スイーツ)」
[Hello New Economy!]がスタート/[セルフビルド]連続
トーク/[神戸スタディーズ#7 港・越境・多文化共生]/椎原
保展「旅する KIITO」/巡回展「THERIACA 服のかたち/
体のかたち」/TRANS-KOBE×KIITO「バンじいのパン屋
さん」/[LIFE IS CREATIVE展 高齢社会における、人生の
つくり方。]/台湾でKIITO展開催(年間事業数171)

「ちびっこうべ2020」オンライン開催/パーソンズ美術大学との
「災害×クリエイティブ」展/Xhiasma ProjectのKIITOアー
ティストサポートプログラム/感染症拡大による臨時休館のた
め、KIITO CAFEでランチボックス販売、KIITO出版物の郵送
サービス実施/[コーヒースタンドで働こう!](年間事業数78)

「FormSWISS 神戸展」/[神戸スタディーズ#8 まちで映
画が生まれる時]/芹沢高志退任、新センター長に永田宏
和が就任/交流拠点「KIITO:300」オープン/[社会貢献
活動プラットフォームリレートーク]、「生糸検査所時代の家
具から紐解く、神戸家具の歴史と文化」/ASICS連携事業
開催/巡回展「わたしは思い出す 10年間の育児日記を再
読して」/KIITO×TDRI 成果展「消消防災 BLOCK
DISASTER」/秋田市文化創造館と交流・協力のための
協定締結(年間事業数182)

エラ・ホテルド×中野信子×森山未来のアーティストサポート
プログラム「KIITO:300キャンパワークショップ」お化け屋敷
をつくらう/[Dungeons of KIITO]/KIITO:300 FARMト
ークイベント[300秒プレゼンテーション交流会]「地域課題解
決×クリエイティブ」がスタート/[THERIACA Yarn,
Rope, Spaghetti 展]/神戸市立三宮図書館がKIITOに仮
移転/tupera tuperaによるワークショッププログラムと展
覧会開催/[ミケーレ・デルルッキと未来を共有する建築。]/
三宮周辺施設連携事業「さんほみや」始動/[ちびっこうべ
2022]開催/イダ傘店「騙すーかざー」(年間事業数217)

2012 KIITO開館/オープニングはウォーリー木下×ダンスボッ
クス、櫻忠の祝砲パフォーマンス×三田村管打団/[+クリ
イティブレクチャー]/+クリエイティブゼミ「ちびっこう
べ」がスタート/水川千春がアーティスト・イン・レジデンス
(年間事業数62)

「KIITalk」[未来のかけらラボ]「神戸スタディーズ」[ものづ
くりワークショップ]「映画部」[キイトナイト]「Designers」
がスタート/東日本大震災復興支援「つくることが生きてこ
う」がスタート/市民参加ワークショップ「震災20年を語ろう」/西尾美
也がアーティスト・イン・レジデンス/[神戸珈琲学]「食か
はじまるライフデザイン」がスタート/KAVC×C.A.P.×KIITO
の連携企画「Marching KOBE」がスタート(年間事業数174)

神戸ぐらしはじめました。



16人目
伊藤絵実さん
(神戸地域おこし隊/
株式会社さくらむり)
神戸歴:11カ月(取材時点)

前田基行さんの神戸めし



店長さんは中学時代の同級生。子どもの頃は遊び
に来ていたこの店で、社会人になった今は
時々お昼を食べているのだとか。年々、大衆食堂
っぽい店に惹かれていくそうで、この日も隣のテー
ブルのおっちゃんに話しかけられながら、あたたかい
粕汁と赤魚の一夜干しをおいしそうに味わって
いた前田さん。コロナ禍で外食の機会が減って
いたけど、「これからはまたいろいろなお店に行きたい
な」とちょっとうきうきした様子だった。

ごはん屋 たち八食堂(湊川)
兵庫県神戸市兵庫区東山町3-1-3



16. 前田基行さん
(COMMAGRAM.)
空間デザイナー。KIITOでは2018
年から「ちびっこうべ」に建築家
チームクリエイターとして参加。

今号のデザイナー | ほそかわなつき (NATSUKI HOSOKAWA DESIGN) 1984年神戸生まれ。現在は神戸三宮に事務所を構える。2023年から額を販売する「MOOK」を開始。

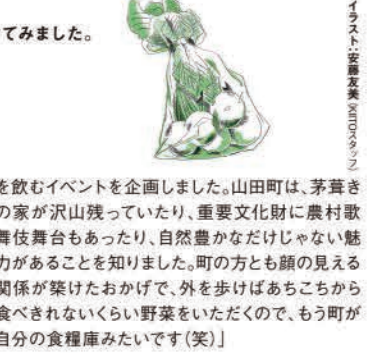
KIITO NEWSLETTER VOL.036

2023年3月発行

発行:デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)
〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4
TEL: 078-325-2235
E-mail: info@kiito.jp
開館時間: 9:00-21:00
休館日: 月曜日(祝日、振替休日の場合はその翌日) 年末年始12/29-1/3
https://kiito.jp/

Q.どうして神戸?

「地域おこし隊の仕事って、どんな仕事をどうする
のか、すべて自分で作っていかないといけない
です。住まいは山田町にある古民家に住めること
になったので、仕事始めに、町の皆さんに顔を知
ってもらうため、フラダンスや太極拳といった地域
の活動にひたすら足を運びました。おかげで、そ
こで出会った方から「こんなイベントあるよ」「こん
な人がいるよ」と教えてもらって、その縁でつな
がった方たちと一緒に文化財を見ながらコーヒ

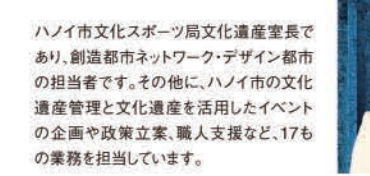


5問でわかる
世界のデザイン都市ガイド
デザイン都市って何? 世界の「デザイン都市」担当者に共通の
質問を投げかけて解きほぐします。第23回は、2月17日にKIITO
を訪問されたハノイ市の担当者に直接インタビューしました。

No.23 ベトナム・ハノイ | Hanoi (Hà Nội)

- 1 ハノイの旧市街です。ランドマークである
ゴックソン寺院は、ホアンキエム湖に浮か
ぶ寺院です。そのホアンキエム湖の北に広
がる旧市街では、文化芸術に関するイベン
トも多く開催されており、街並みや空間を
活かした、創造都市としての活動を推進し
たいと考えています。
- 2 ハノイの人なら誰でも知っている歌「ハノイ
を思う(Đoàn Khúc Thu Hà Nội)」です。
「どこに行っても、愛する首都、ハノイを
思う」という歌詞から始まり、多くの人に歌われて
いますが、ホン・ニュン(Hồng Nhung)とい
う女性歌手の曲が一番親しまれています。
- 3 仕事内容の変化です。26年にわたり宗教
に関する研究をしていましたが、いまは創
造都市ネットワークの仕事、それもデザ
インに関する仕事に関わっていることに驚
いています。
- 4 仕事としては創造都市ネットワークの活動
についていつも考えています。プライベート
では蘭を育てることにハマっています。
- 5 デザイン=創造。
ベトナム語ではsáng tạoです。

Q1「ここぞデザイン都市!」というスポット / Q2ハノイのまちを舞台にした作品のおススメ / Q3最近、一番驚いたこと / Q4ハマっていること / Q5デザインをひと言でいえば



Pham Thi Lan Anhさん
ハノイ市文化スポーツ局文化遺産室長で
あり、創造都市ネットワーク・デザイン都市
の担当者です。その他に、ハノイ市の文化
遺産管理と文化遺産を活用したイベント
の企画や政策立案、職人支援など、17も
の業務を担当しています。

ACCESS

阪急・阪神神戸三宮駅、JR三宮駅より
フラワーロードを南へ徒歩20分
国道2号線を越えた神戸税関東向かい
神戸市営地下鉄海岸線三宮・花時計駅前より徒歩10分
ポートライナー貿易センター駅より徒歩10分
運部バス「Port Loop」KIITO前下車すぐ

CONTACT

デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)
〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4
TEL: 078-325-2235
E-mail: info@kiito.jp
開館時間: 9:00-21:00
休館日: 月曜日(祝日、振替休日の場合はその翌日) 年末年始12/29-1/3
https://kiito.jp/

What's on

本選びから見える、様々なゲストの個性

KIITOと三宮図書館では、異なるゲストが推しの本を紹介する選書企画をスタートしました。人に個性があるように、その人が手に取った本、影響を受けた本もそれぞれ。読書は本を選ぶところから始まるとも言われるように、選ばれた本を辿るとその人の人生や人物像が浮かびあがってきます。本の説明と合わせてゲストによるおすすめの理由も紹介していますので、ぜひご覧ください。

「〇〇さんの本棚」

開催日：随時
会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 2階 神戸市立三宮図書館



News

洋裁マダムと着物をリメイク！

小学校4年生～中学校3年生を対象とした、全10回のワークショップが7月からスタートします。KIITOのプログラム「大人の洋裁教室」を受講してきた「洋裁マダム」の愛称で呼ばれる先輩たちと一緒に、秋の発表会に向けてオリジナルの服を仕立てます。縫うことに興味がある、ものづくりが大好き、という方必見です！

こどもの洋裁教室

開催日：2023年7月9日(日)
～10月9日(月祝)全10回
会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)

※詳細はKIITOウェブサイトをご覧ください。

写真：2022年に開催した「こどもの洋裁教室」ではマスクづくりを体験



Report

KIITOにモンスターが出現！

株式会社アシックス、美術家KOSUGE1-16土谷享さんとの協働で、KIITOを迷宮に見立てたりアル体験型RPGを子どもたちが制作するワークショップを実施しました。ワークショップでは様々な「遊び」を体験しながら制作を進め、最後に完成したRPGを成果発表として一般公開しました。期間中、KIITOに現れたモンスターを倒すため、装備品を付けて歩き回る人々で館内が賑わいました。

Dungeons of KIITO ～あそぼう！モンスターたちの大運動会～

2023年1月28日(土)、1月29日(日)、
2月4日(土)、2月5日(日)

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸
株式会社アシックス
アートディレクション：土谷享(KOSUGE 1-16)



「緑」の下の力持ち

縁あってKIITOに来て、半年とすこし。アーティストの考えにふれたり、子どもたちの目線や言葉に驚かされたりする中で、何よりも自分自身が刺激を受け、ポジティブな変化をしていく感覚があった。人生においては、ふと生まれた縁がきっかけで世界の見え方が変わる瞬間がある。KIITOはそんな人と人の縁を紡ぎ、豊かな瞬間を作ってきた「緑」の下の力持ち的な存在なんじゃないか、と何となく感じている。

ちょっぴりD)もたしなむ新米スタッフ ●● 能瀬由芽子

「KIITO:300 CAMP」担当として子ども対象の事業に携わる。音楽好きを活かして、音楽関連の事業を増やせたら。

誰かの豊かさにつながること信じて

とある作家との出会いをきっかけに今の仕事にいたる。アーティストの発する言葉や行動は驚きの連続だった。とめどなく知的好奇心を掻き立て、生きている心地にさせた。その場がとてつもなく自由で心地よかったのだ。当たり前だが、子どもの頃はそうした驚きや恐怖を乗り越えながら成長してきた。知らないものに触れる経験は、その人を豊かに育てていく。人を豊かにするということは、社会を豊かにすることにつながっていく。

ナマケモノタイプに憧れる ●●●●● 大泉愛子

広報の他、アーティストサポート、図書館連携を担当。言葉をテーマにした企画や料理教室もやってみた。

創造的思考も創造的試行

KIITOはこの10年間の社会状況の変化に呼応した役割を果たしてきたのだろうか。そして、これからの時代に求められる活動を展開していけるのだろうか。設立当初、KIITOの実績がまだない間には、否応なく新しい方法を市民と共に試行することとなった。「+クリエイティブ」と名付けたそのプロセスは、「創造的思考」でありつつ、より「創造的試行」だった。10年間の実績が固定観念や既存概念とならないように、社会の変化にしなやかに寄りそう創造的試行を、これからも続けていく。

寝るとリセットできるリーダー格 ●●●●● 近藤健史

神戸市とKIITOの間での連絡調整が仕事の中心。できれば事業企画や運営の現場に関わり続けたい。

混沌として分類できない活動カコソ

「こどもたちと夢のお店をつくらせている」「おじいちゃんやパンづくりをしている」「イタリア人建築家の展示会をしている」「食べられない食の展示会をしている」。KIITOの活動と私の仕事はなかなかのカオスぶり、説明するのは難しい。私の親もきっと理解できていない…。それでも10年かけて少しずつ成果を実感している。神戸の未来には、混沌として分類できないKIITOのような活動がこれからも重要なのだと思う。

コアラっぽいけど体育会系 ●●●●●●● 加藤慧

食に関するプロジェクトや大学連携などの企画運営を担当。今後は「スポーツ+クリエイティブ」に挑戦したい。

答えようのない場所

「KIITOって何なん？」と聞かれたとき、いまだ端的に言い表せられない。如果说「出会う場所」？ 老若男女問わず、人生をもっと豊かにそして魅力的にする、物事や人とのつながり、きっかけ、そういうものを見つけれるところ。私たちはそのお手伝い(そっ)している感じ。運営側も参加側も、全員が本気になって取り組み、多角的で多面的なアプローチを行い、いろいろなのが芽吹いている、そんな感じ。

狙ったものは逃さない姐さん ●●●●●●● 中原容子

地域貢献活動をする人のためのハブ「KIITO:300 FARM」を整備。KIITOをさらに開かれた場所にしたい。

時には逆立ちしてみてもいい

地域の集まりに顔を出した時、「この前、KIITOでやってたイベントにうちの子が参加して」と伝えてくれた。照れくさそうに隠れる子どもの姿が見える。心地いい距離感って人によって違うし、相対的に離れたり近づいたりする。関わりしるを増やすことはその場が豊かになっていくことでもある。取りこぼしそうな小さな言葉や心の動きがなによりも大切で尊い。数字では表されぬ日々の積み重ねや思考をめぐらせて、心を耕し、深化させていく。

マイペースな面のある風来坊 ●●●●●●● 高橋亘

「KIITO:300 FARM」担当。今後は、人間の営みにある混沌としたものに向き合ったアートイベントを企画したい。

それでも「らくるこも」の価値

つくりたくないという選択権を取ることができる時代で、それでもつくることに価値があるのは、意味を持ってつくられたものにはその気持ちが残り、人が語る以上に伝わるものがあるからではないかと思えます。KIITOがつくってきた10年、それぞれの関わりに物語があり、それをつなげていながら新しい時代を見据えて、一緒に歩いていける方法を探したいなと心より思っています。

超速で子どもになつかる羊系 ●●●●●●● 三好天都

子ども関連事業、デザインやものづくりを主題としたワークショップに、KIITO入居者との連携も担当。

KIITOの歴史を再検証

Q ねえねえ、KIITOって何なん!?

1 創造人材である「風の人」養成所

KIITOの開設時に、コピーライターの岡本欣也氏が制作したキャッチコピー「みんながクリエイティブになる。そんな時代の中心になる。」は、開設から11年経った今も変わっておらず、2021年からは積極的にアウトリーチし、現場での生きた体験が必要不可欠な創造人材「風の人」の養成に取り組み続けている。まちを元気にし、豊かにする源は創造的な「人」である。社会課題山積みの今の社会をより良くするための「人」づくりがKIITOの果たすべき最大の役割だと考えている。

センター長 ●● 永田宏和
主に事業企画を担当。開設時は副センター長、21年からセンター長に。多世代の多くの市民を「風の人」として養成し続けた。



2 大人以上にオトナな子どもたち

「子どもを舐めたらアカン」。子どもたちと一緒に取り組むイベントでは何度もこの言葉が頭をよぎる。こんな表現じゃ難しくて伝わらないかもしれない、こんなことさせたら危険かもしれない。しかしそんな心配を子どもたちはひよいと飛び越えていく。だから私は過剰に心配することをやめた。子どもも大人も関係ない。プログラムを楽しめるかどうかは、未知の世界に飛び込めるかどうかだ。KIITOがその勇気が湧いてくる場所であってほしい。

受け姿勢が基本のリアクション芸人 ●●●●● 安藤友美

子ども関連事業や野菜にまつわるプログラムを企画運営。KIITO農園化計画を進めている。

